

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1036 U.S. PTO
09/901698
11036 U.S. PTO
09/901698

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 7月27日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-226533

出 願 人
Applicant (s):

沖電気工業株式会社

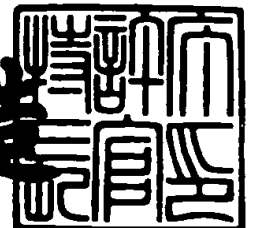
CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

Best Available Copy

2001年 3月30日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



INVENTOR: Yasuo KAWARITA

【書類名】 特許願

【整理番号】 KT000301

【提出日】 平成12年 7月27日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
G06F 17/30
G06F 13/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社
社内

【氏名】 川北 泰広

【特許出願人】

【識別番号】 000000295

【氏名又は名称】 沖電気工業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100095957

【弁理士】

【氏名又は名称】 亀谷 美明

【電話番号】 03-3226-6631

【選任した代理人】

【識別番号】 100096389

【弁理士】

【氏名又は名称】 金本 哲男

【電話番号】 03-3226-6631

【選任した代理人】

【識別番号】 100101557

【弁理士】

【氏名又は名称】 萩原 康司

【電話番号】 03-3226-6631

【選任した代理人】

【識別番号】 100096091

【弁理士】

【氏名又は名称】 井上 誠一

【電話番号】 03-3226-6631

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 040224

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707549

【包括委任状番号】 9707550

【包括委任状番号】 9707551

【包括委任状番号】 0001436

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 販売数量情報コーディネーションサービスシステム、端末装置、及び媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも所定の作業方法と前記所定作業に必要な作業要素とを掲載する情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、少なくとも前記所定作業に必要な作業要素の販売単位及び価格からなる販売数量情報を提供する複数の作業要素提供者端末と、利用者端末とがネットワークを介して接続されるサービスシステムであって、

前記ネットワークには、さらに、

前記利用者端末からの要求に応じて、前記情報ページに提示される作業要素の販売数量情報を少なくとも 1 以上の作業要素提供者端末に対して要求する販売数量情報要求手段と、前記複数の作業要素提供者端末から提供された複数の販売数量情報を所定形式で編集する編集手段と、前記編集された販売数量情報を前記販売数量情報を要求した利用者端末に提供する販売数量情報提供手段と、を有するコーディネーション端末が接続される、

ことを特徴とする販売数量情報コーディネーションサービスシステム。

【請求項 2】 前記編集手段は、購入する作業要素を指定するための作業要素購入指定手段を作業要素毎に付加するように、前記販売数量情報を編集すると共に、

前記利用者端末は、前記作業要素購入指定手段で作業要素を指定して、前記編集された販売数量情報を前記作業要素提供者に返信することにより作業要素の注文が可能である、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の販売数量情報コーディネーションサービスシステム。

【請求項 3】 前記販売数量情報コーディネーションサービスシステムは、さらに、前記作業要素を購入する条件を指定した情報を利用者ごとに登録する個人情報登録手段を有しており、

前記販売数量情報要求手段は、前記個人情報に基づいて販売数量情報を作業要

素提供者に対して要求し、あるいは、

前記編集手段は、前記個人情報に基づいて販売数量情報を所定形式で編集する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の販売数量情報コーディネーションサービスシステム。

【請求項 4】 前記個人情報には、少なくとも、作業要素の購入方法を指定する情報が含まれており、

前記販売数量情報要求手段は、

前記作業要素をオンラインで購入すると指定されている場合には、オンラインで購入可能な作業要素提供者に対して販売数量情報を要求し、

前記作業要素を店舗で購入すると指定されている場合には、前記販売数量情報を要求した利用者端末から所定範囲内に店舗を有する作業要素提供者端末に対して販売数量情報を要求する、

ことを特徴とする請求項 3 に記載の販売数量情報コーディネーションサービスシステム。

【請求項 5】 前記個人情報には、購入する作業要素、あるいは購入しない作業要素を予め指定する作業要素購入指定情報が含まれており、

前記編集手段は、

前記作業要素購入指定情報に基づいて、購入する作業要素を前記作業要素購入指定手段で予め指定するように編集し、あるいは、

前記作業要素購入指定情報に基づいて、購入しない作業要素を前記作業要素購入指定手段で予め指定しないように編集する、

ことを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の販売数量情報コーディネーションサービスシステム。

【請求項 6】 前記個人情報には、作業要素の購入条件を優先順位を付けて指定する購入条件指定情報が含まれており、

前記編集手段は、

前記購入条件指定情報の前記優先順位に基づいて所定数の販売数量情報を提示すると共に、前記提示された販売数量情報以外にも作業要素が存在することを表

示する、

ことを特徴とする請求項 3， 4 あるいは 5 項のうちいずれか 1 項に記載の販売数量情報コーディネーションサービスシステム。

【請求項 7】 前記販売数量情報要求手段は、

前記個人情報を登録していない利用者端末から販売促進情報を要求された場合には、予め設定した作業要素提供者端末に対して販売数量情報を要求する、

ことを特徴とする請求項 3， 4， 5 あるいは 6 項のうちいずれか 1 項に記載の販売数量情報コーディネーションサービスシステム。

【請求項 8】 少なくとも所定の作業方法と前記所定作業に必要な作業要素とを掲載する情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、少なくとも前記所定作業に必要な作業要素の販売単位及び価格からなる販売数量情報を提供する複数の作業要素提供者端末と、利用者端末との間にネットワークを介して接続される端末装置であって、

前記端末装置は、

前記利用者端末からの要求に応じて、前記情報ページに提示される作業要素の販売数量情報を少なくとも 1 以上の作業要素提供者端末に対して要求する販売数量情報要求手段と、前記複数の作業要素提供者端末から提供された複数の販売数量情報を所定形式で編集する編集手段と、前記編集された販売数量情報を前記販売数量情報を要求した利用者端末に提供する販売数量情報提供手段と、

を有することを特徴とする端末装置。

【請求項 9】 前記編集手段は、購入する作業要素を指定するための作業要素購入指定手段を作業要素毎に付加するように、前記販売数量情報を編集する、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の端末装置。

【請求項 10】 前記端末装置は、さらに、前記作業要素を購入する条件を指定した情報を利用者ごとに登録する個人情報登録手段を有しており、

前記販売数量情報要求手段は、前記個人情報に基づいて販売数量情報を作業要素提供者に対して要求し、あるいは、

前記編集手段は、前記個人情報に基づいて販売数量情報を所定形式で編集する

ことを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の端末装置。

【請求項 11】 前記個人情報には、少なくとも、作業要素の購入方法を指定する情報が含まれており、

前記販売数量情報要求手段は、

前記作業要素をオンラインで購入すると指定されている場合には、オンラインで購入可能な作業要素提供者に対して販売数量情報を要求し、

前記作業要素を店舗で購入すると指定されている場合には、前記販売数量情報を要求した利用者端末から所定範囲内に店舗を有する作業要素提供者端末に対して販売数量情報を要求する、

ことを特徴とする請求項 10 に記載の端末装置。

【請求項 12】 前記個人情報には、購入する作業要素、あるいは購入しない作業要素を予め指定する作業要素購入指定情報が含まれており、

前記編集手段は、

前記作業要素購入指定情報に基づいて、購入する作業要素を前記作業要素購入指定手段で予め指定するように編集し、あるいは、

前記作業要素購入指定情報に基づいて、購入しない作業要素を前記作業要素購入指定手段で予め指定しないように編集する、

ことを特徴とする請求項 10 または 11 に記載の端末装置。

【請求項 13】 前記個人情報には、作業要素の購入条件を優先順位を付けて指定する購入条件指定情報が含まれており、

前記編集手段は、

前記購入条件指定情報の前記優先順位に基づいて所定数の作業要素の販売数量情報を提示すると共に、前記提示された販売数量情報以外の作業要素も存在することを表示するように、前記販売数量情報を編集する、

ことを特徴とする請求項 10、11 あるいは 12 項のうちいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 14】 前記販売数量情報要求手段は、

前記個人情報を登録していない利用者端末から販売促進情報を要求された場合には、予め設定した作業要素提供者端末に対して販売数量情報を要求する、

ことを特徴とする請求項 1 0, 1 1, 1 2 あるいは 1 3 項のうちいずれか 1 項に記載の端末装置。

【請求項 1 5】 請求項 8 から 1 4 に記載の端末装置を実現するためのプログラムを記録した媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、販売数量情報コーディネートサービスシステム、端末装置及び媒体に関し、さらに詳細には、インターネットに代表されるネットワークに接続された利用者端末から、種々のサービスを検索してオンライン上で商品を購入する販売数量情報コーディネートサービスシステム等に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

近年においては、インターネット等のコンピュータネットワークを介して、サービス提供者が幾多の商品、情報（データやコンテンツとも称される）、サービスなどを提供し、利用者はかかる商品等を閲覧して購入するシステムが構築されている。かかるシステムにより、利用者が商品等を購入しようとする場合には、利用者端末の閲覧画面からネットワークを介して、例えば、料理用レシピなどの情報や料理用食材自体を商品として販売する業者に対して、商品等を注文する。

【0 0 0 3】

かかるシステムにおいて、利用者が料理レシピを見て必要な食材を購入する場合には、料理のレシピから必要な食材を選択し、必要な人数分の食材分量を計算する。さらに、その食材を販売している店舗へ出向き、店舗の販売単位量で必要な食材を購入する。また、一つの店舗で全ての食材が揃わない場合は、別の店舗で必要な人数分の食材を揃える。

【0 0 0 4】

このような方法で、食材を揃える場合には、必要な人数分の食材分量を算出するのが、一般的に最も面倒な作業である。例えば複数の料理を作る場合には、必要な食材が重なるので、分量の計算が特に面倒となる。

【0005】

このような面倒な作業を解消するため、例えば特開平第7-121614号公報（「商品案内装置」）では、メニュー番号と人数を入力するだけで、必要な食材の分量と価格が自動的に算出される装置が提案されている。上記公報にかかるシステムでは、予め店舗で扱っている食材の種類、販売単位、単価などの情報をシステムに登録されているので、メニュー番号と人数を入力するだけで、必要な食材の数量と販売単位量に基づく分量が計算されて、購入価格が提示される。上記システムでは、購入者は、店舗内に設置された端末装置に対してメニュー、人数を入力して、必要な食材の分量と価格を直ちに知ることができる。

【0006】

なお、作業要素提供者が取り扱う食材の種類、販売単位、単価などの作業要素情報は、作業要素提供者毎に異なる。以下では、かかる作業要素の販売単位、単価などの情報を販売数量情報と称して説明する。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来のシステムでは、端末装置が食材を提供する店舗内に設置されるので、利用者は店舗まで行かなければ装置を利用できないという問題がある。即ち、利用者は、例えば自宅に残っている食材を確認しながら、料理レシピや必要な食材を選択することができない。

【0008】

また、従来のシステムは、店舗内に限って機能する装置であるので、異なる店舗間、あるいは異なる企業の店舗間で情報を共有化することができない。また、選択可能な料理レシピは、店舗が提供する食材を利用したものに限られるので、店舗が提供していない食材を利用したレシピは提供されていない。このため、必ずしも利用者が希望する料理レシピや食材が提供されとは限らない。さらに、食材の販売単位は店舗独自で決定されることから、利用者は、販売単位の選択をすることができない。このため、必要量以上の食材を購入しなければならないという問題もある。

【0009】

従って、本発明の目的は、作業方法に必要な作業要素を販売数量情報に基づいて効率的に購入することが可能な新規かつ改良された販売数量情報コーディネーションサービスシステムを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項1に記載の発明では、少なくとも所定の作業方法と前記所定作業に必要な作業要素とを掲載する情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、少なくとも前記所定作業に必要な作業要素の販売単位及び価格からなる販売数量情報を提供する複数の作業要素提供者端末と、利用者端末とがネットワークを介して接続されるサービスシステムであって、前記ネットワークには、さらに、前記利用者端末からの要求に応じて、前記情報ページに提示される作業要素の販売数量情報を少なくとも1以上の作業要素提供者端末に対して要求する販売数量情報要求手段と、前記複数の作業要素提供者端末から提供された複数の販売数量情報を所定形式で編集する編集手段と、前記編集された販売数量情報を前記販売数量情報を要求した利用者端末に提供する販売数量情報提供手段と、を有するコーディネーション端末が接続される、

ことを特徴とする販売数量情報コーディネーションサービスシステムが提供される。

【0011】

本項記載の発明では、食材提供者などの作業方法提供者の情報ページから必要な食材などの作業要素とその分量を指定するだけで、複数の食材提供者間の情報が取りまとめられて利用者端末に提示される。この結果、利用者は自宅に居ながらにして、例えば食材などの作業要素の購入量や価格の予定を立てることができる。また、異なる複数の食材提供者などの作業要素提供者間の情報をとりまとめた上で利用者端末に提示されるので、利用者は、より多くの情報を取得できると共に購入する作業要素の選択肢が広げられる。

【0012】

また、ネットワーク上に公開された例えば料理レシピなどの作業方法提供者のサイトや例えば食材提供者などの作業要素提供者のサイトのデータを利用するの

で、単独店舗で行われる従来のサービスに比べて常に高い確率で取り揃えることができる。さらに、料理レシピなどの作業方法の情報を有しない食材提供者などの作業要素提供者も、ネットワークに接続するだけでサービスを開始することができる。

【0013】

また、請求項2に記載の発明のように、前記編集手段は、購入する作業要素を指定するための作業要素購入指定手段を作業要素毎に付加するように、前記販売数量情報を編集すると共に、前記利用者端末は、前記作業要素購入指定手段で作業要素を指定して、前記編集された販売数量情報を前記作業要素提供者に返信することにより作業要素の注文が可能である、如く構成すれば、食材提供者により異なる販売単位についても、利用者が希望する適切な分量の販売単位で食材を購入することができる。

【0014】

また、請求項3に記載の発明のように、前記販売数量情報コーディネーションサービスシステムは、さらに、前記作業要素を購入する条件を指定した情報を利用者ごとに登録する個人情報登録手段を有しており、前記販売数量情報要求手段は、前記個人情報に基づいて販売数量情報を作業要素提供者に対して要求し、あるいは、前記編集手段は、前記個人情報に基づいて販売数量情報を所定形式で編集する、如く構成すれば、個人情報に基づいて限定された食材提供者にのみ作業要素情報の照会が行われる。この結果、利用者の要求に応じた食材情報を高速に提示することができる。

【0015】

また、請求項4に記載の発明のように、前記個人情報には、少なくとも、作業要素の購入方法を指定する情報が含まれており、前記販売数量情報要求手段は、前記作業要素をオンラインで購入すると指定されている場合には、オンラインで購入可能な作業要素提供者に対して販売数量情報を要求し、前記作業要素を店舗で購入すると指定されている場合には、前記販売数量情報を要求した利用者端末から所定範囲内に店舗を有する作業要素提供者端末に対して販売数量情報を要求する、如く構成すれば、利用者が希望する購入方法に応じて、利用者が便利なよ

うに作業要素情報を提供することができる。また、利用者端末には望んでいる店舗の食材情報だけが表示されるので、検索時間が早くなる。

【 0 0 1 6 】

また、請求項 5 に記載の発明のように、前記個人情報には、購入する作業要素、あるいは購入しない作業要素を予め指定する作業要素購入指定情報が含まれており、前記編集手段は、前記作業要素購入指定情報に基づいて、購入する作業要素を前記作業要素購入指定手段で予め指定するように編集し、あるいは、前記作業要素購入指定情報に基づいて、購入しない作業要素を前記作業要素購入指定手段で予め指定しないように編集する、如く構成すれば、購入する食材毎に予め選択あるいは非選択を指定する個人情報が登録されているので、オンラインショップで作業要素を購入する場合には、利用者の手間を省略することができる。

【 0 0 1 7 】

また、請求項 6 に記載の発明のように、前記個人情報には、作業要素の購入条件を優先順位を付けて指定する購入条件指定情報が含まれており、前記編集手段は、前記購入条件指定情報の前記優先順位に基づいて所定数の販売数量情報を提示すると共に、前記提示された販売数量情報以外の作業要素が存在することを表示するように、前記販売数量情報を編集する如く構成すれば、同じ食材などの作業要素が利用者の設定した優先順位に基づいて表示されるので、例えば料理を作るために必要な分量と販売単位が近い順、又は購入価格の安い順など、利用者が希望する優先順位に基づいて作業要素を購入することができる。

【 0 0 1 8 】

また、請求項 7 に記載の発明のように、前記販売数量情報要求手段は、前記個人情報を登録していない利用者端末から販売促進情報を要求された場合には、予め設定した作業要素提供者端末に対して販売数量情報を要求する、如く構成すれば、個人情報を登録していない場合は、所定範囲の食材提供者などの作業要素提供者端末から提供された食材などの作業要素の販売促進情報を得ることができる。

【 0 0 1 9 】

上記課題を解決するため、請求項 8 に記載の発明では、少なくとも所定の作業

方法と前記所定作業に必要な作業要素とを掲載する情報ページを提供する複数の作業方法提供者端末と、少なくとも前記所定作業に必要な作業要素の販売単位及び価格からなる販売数量情報を提供する複数の作業要素提供者端末と、利用者端末との間にネットワークを介して接続される端末装置であって、前記端末装置は、前記利用者端末からの要求に応じて、前記情報ページに提示される作業要素の販売数量情報を少なくとも1以上の作業要素提供者端末に対して要求する販売数量情報要求手段と、前記複数の作業要素提供者端末から提供された複数の販売数量情報を所定形式で編集する編集手段と、前記編集された販売数量情報を前記販売数量情報を要求した利用者端末に提供する販売数量情報提供手段と、を有することを特徴とする端末装置が提供される。

【 0 0 2 0 】

本項記載の発明では、食材提供者などの作業方法提供者の情報ページから必要な食材などの作業要素とその分量を指定するだけで、複数の食材提供者間の情報が取りまとめられて利用者端末に提示される。この結果、利用者は自宅に居ながらにして、例えば食材などの作業要素の購入量や価格の予定を立てることができる。また、異なる複数の食材提供者などの作業要素提供者間の情報をとりまとめた上で利用者端末に提示されるので、利用者は、より多くの情報を取得できると共に購入する作業要素の選択肢が広げられる。

【 0 0 2 1 】

また、ネットワーク上に公開された例えば料理レシピなどの作業方法提供者のサイトや例えば食材提供者などの作業要素提供者のサイトのデータを利用するので、単独店舗で行われる従来のサービスに比べて常に高い確率で取り揃えることができる。さらに、料理レシピなどの作業方法の情報を有しない食材提供者などの作業要素提供者も、ネットワークに接続するだけでサービスを開始することができる。

【 0 0 2 2 】

また、請求項9に記載の発明のように、前記編集手段は、購入する作業要素を指定するための作業要素購入指定手段を作業要素毎に付加するように、前記販売数量情報を編集する、如く構成すれば、食材提供者により異なる販売単位につい

ても、利用者が希望する適切な分量の販売単位で食材を購入することができる。

【 0 0 2 3 】

また、請求項 1 0 に記載の発明のように、前記端末装置は、さらに、前記作業要素を購入する条件を指定した情報を利用者ごとに登録する個人情報登録手段を有しており、前記販売数量情報要求手段は、前記個人情報に基づいて販売数量情報を作業要素提供者に対して要求し、あるいは、前記編集手段は、前記個人情報に基づいて販売数量情報を所定形式で編集する、如く構成すれば、個人情報に基づいて限定された食材提供者にのみ作業要素情報の照会が行われる。この結果、利用者の要求に応じた食材情報を高速に提示することができる。

【 0 0 2 4 】

また、請求項 1 1 に記載の発明のように、前記個人情報には、少なくとも、作業要素の購入方法を指定する情報が含まれており、前記販売数量情報要求手段は、前記作業要素をオンラインで購入すると指定されている場合には、オンラインで購入可能な作業要素提供者に対して販売数量情報を要求し、前記作業要素を店舗で購入すると指定されている場合には、前記販売数量情報を要求した利用者端末から所定範囲内に店舗を有する作業要素提供者端末に対して販売数量情報を要求する、如く構成すれば、利用者が希望する購入方法に応じて、利用者が便利のように作業要素情報を提供することができる。また、利用者端末には望んでいる店舗の食材情報だけが表示されるので、検索時間が早くなる。

【 0 0 2 5 】

また、請求項 1 2 に記載の発明のように、前記個人情報には、購入する作業要素、あるいは購入しない作業要素を予め指定する作業要素購入指定情報が含まれており、前記編集手段は、前記作業要素購入指定情報に基づいて、購入する作業要素を前記作業要素購入指定手段で予め指定するように編集し、あるいは、前記作業要素購入指定情報に基づいて、購入しない作業要素を前記作業要素購入指定手段で予め指定しないように編集する、如く構成すれば、購入する食材毎に予め選択あるいは非選択を指定する個人情報が登録されているので、オンラインショップで作業要素を購入する場合には、利用者の手間を省略することができる。

【 0 0 2 6 】

また、請求項 1 3 に記載の発明のように、前記個人情報には、作業要素の購入条件を優先順位を付けて指定する購入条件指定情報が含まれており、前記編集手段は、前記購入条件指定情報の前記優先順位に基づいて所定数の作業要素の販売数量情報を提示すると共に、前記提示された販売数量情報以外の作業要素も存在することを表示するように、前記販売数量情報を編集する如く構成すれば、同じ食材などの作業要素が利用者の設定した優先順位に基づいて表示されるので、例えば料理を作るために必要な分量と販売単位が近い順、又は購入価格の安い順など、利用者が希望する優先順位に基づいて作業要素を購入することができる。

【 0 0 2 7 】

また、請求項 1 4 に記載の発明のように、前記販売数量情報要求手段は、前記個人情報を登録していない利用者端末から販売促進情報を要求された場合には、予め設定した作業要素提供者端末に対して販売数量情報を要求する、如く構成すれば、個人情報を登録していない場合は、所定範囲の食材提供者などの作業要素提供者端末から提供された食材などの作業要素の販売促進情報を得ることができる。

【 0 0 2 8 】

また、上記課題を解決するため、請求項 1 5 に記載の発明のように、請求項 8 から 1 4 に記載の端末装置を実現するためのプログラムを記録した媒体が提供される。

【 0 0 2 9 】

本項記載の発明では、端末装置に対し、請求項 8 から 1 4 に記載の端末装置を実現するための機能を付加することができる。

【 0 0 3 0 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の好適な実施の形態について、添付図面を参照しながら詳細に説明する。尚、以下の説明および添付図面において、同一の機能及び構成を有する構成要素については、同一符号を付することにより、重複説明を省略する。

【 0 0 3 1 】

(第 1 の実施の形態)

本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムにおいては、料理レシピを作業方法として、作業要素である食材の提供を利用者が購入することを例に説明する。なお、利用者が、所定の料理を作るために必要な食材の販売単位での数量、価格などを、コーディネーション端末を介して食材提供サイトに問い合わせ、その結果を利用者端末に提示する。

【0032】

以下、図1及び図2に基づいて、第1の実施の形態について説明する。なお、図1は、本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。

【0033】

まず、図1に示すように、本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムは、食材の種類、販売単位、価格などの情報を提供する食材提供者端末100、料理レシピを提供する料理レシピ提供者端末101、コーディネーション端末102、利用者端末103がネットワーク104を介して相互に接続されている。

【0034】

食材提供者端末100は、提供可能な食材名、販売単位、価格などの食材情報を格納するデータベースを有する。この食材提供者端末100は、ネットワークを介して送信される食材情報の要求に対して、提供可能な食材名、販売単位での数量、価格などの情報を返信する手段を有する。

【0035】

レシピ提供者端末101は、料理の名前、材料、作り方などを格納するデータベースを有しており、利用者がネットワークを介して料理レシピを閲覧することができる。

【0036】

コーディネーション端末102は、利用者が選択した料理レシピから例えば必要な食材と分量からなる食材情報を抽出する食材情報抽出手段、料理レシピの提供サイトに対して例えば必要な食材と分量からなる食材リストを要求する食材リスト要求手段、複数の料理レシピから送信された食材の種類と分量を編集する食

材情報編集手段、食材提供者端末に対して取り扱う食材の種類及びその分量の情報を要求する食材情報要求手段、食材提供者端末から取得した食材名、販売単位で提供できる食材数量、及びその価格などの食材情報を利用者端末に提示する食材情報提供手段などを有する。

【 0 0 3 7 】

利用者端末 1 0 3 は、ネットワーク 1 0 4 を介して、レシピ提供者端末 1 0 1 の情報、食材提供者端末 1 0 0 の情報、コーディネーション端末 1 0 2 の情報を表示し、必要に応じて上記各端末に送信する情報を入力する入力手段を有する。

【 0 0 3 8 】

次いで、図 2 に基づいて、本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムの動作フローを説明する。なお、図 2 は、本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムの動作フローを説明するためのフローチャートである。

【 0 0 3 9 】

まず、図 2 に示すように、ステップ S 2 0 0 で、利用者端末 1 0 3 をコーディネーション端末 1 0 2 に接続する（ステップ S 2 0 0）。これは、例えば利用者が汎用の Web ブラウザを利用して、コーディネーション端末 1 0 2 の URL を指定することにより行うことができる。

【 0 0 4 0 】

次いで、ステップ S 2 0 1 で、利用者端末 1 0 3 は、コーディネーション端末 1 0 2 を介して複数の料理レシピサイトを自由に閲覧し、好みの料理レシピを選択する（ステップ S 2 0 1）。

【 0 0 4 1 】

このとき、料理レシピを選択する操作を、図 3 及び図 4 に示す。なお、図 3 及び図 4 は、料理レシピの選択操作を説明するための説明図である。

【 0 0 4 2 】

料理レシピを選択する操作は、図 3 に示すように、利用者が、複数の料理レシピを提供している料理レシピサイトを巡回し、好みの料理レシピが表示されたページを選択するという方法がある。また、図 4 に示すように、料理レシピを提供

するサイトで、食材あるいはテーマなどのキーワードを入力して検索を行い、表示された料理レシピから好みの料理レシピを選択する方法を採用してもよい。また、好みの料理レシピを選択する方法として、料理レシピを提供するサイトの検索エンジンを利用しても良い。

【 0 0 4 3 】

このとき、コーディネーション端末は、図 5 に示すように、料理レシピの画面から食材情報のみを抽出することができる。即ち、利用者は、選択した料理レシピが表示される画面上で、選択した料理に必要な食材とその分量を抽出することができる。

【 0 0 4 4 】

さらに、コーディネーション端末は、図 6 に示すように、料理レシピの提供サイトに対して、選択された料理レシピの食材リストを要求して取得することができる。

【 0 0 4 5 】

これにより、図 7 に示すように、利用者が複数の料理レシピサイトを閲覧して、表示された好みの料理を選択する操作を繰り返すだけで、料理を作るのに必要な食材が編集されて利用者端末に提示される。このとき、食材の分量は、料理レシピで指定される人数分（例えば 4 人分）で表示される。また、料理レシピにより異なる場合は、システムに予め指定されている人数分（例えば 4 人分）に換算されて表示することができる。

【 0 0 4 6 】

食材の分量を編集する際、料理レシピ間で販売単位が異なる場合には、予め設定された単位変換テーブルにより、換算した分量を表示することができる。例えば、単位変換テーブルに、「1 5 c c を大さじ 1」、「5 c c を小さじ 1」とすれば、設定をスプーンに表示したときに、料理レシピに 3 0 c c と記載されていれば、「大さじ 2」と表示することができる。

【 0 0 4 7 】

次いで、ステップ S 2 0 2 で、コーディネーション端末 1 0 2 は、利用者が何人分の食材が必要かを入力して、問い合わせを意味するボタンを押すことで、利

用者が選択した料理を作るために必要な食材の数量と分量を食材提供者端末100に送信する（ステップS202）。

【0048】

食材提供者端末100は、食材の種類から品揃えがあるかどうかを確認し、品揃えがある場合には、コーディネーション端末102が送信してきた食材の分量とその食材の販売単位との比較を行う。そして、食材の分量を満たす最小の販売単位の数量を算出し、同時にその価格を導出する。コーディネーション端末102が送信した全ての食材について必要な販売単位の数量と価格が算出されると、食材提供者端末100は各食材の販売単位の数量とその価格をコーディネーション端末102に返信する。取り揃えが無かった場合には、食材提供者端末100は、その意味を示す情報をコーディネーション端末102に返信する。

【0049】

また、食材提供者端末は、コーディネーション端末から得られる食材について、必要な販売単位での数量と価格の情報を返信する際、取り扱いのある一部の食材の情報だけを送信し、取り扱いのないその他の食材に関しては、その意味を示す情報を送信しても良い。

【0050】

その後、ステップS203で、コーディネーション端末102は、図8に示すように、複数の食材提供者端末100から取得した食材情報を利用者端末104に提示する（ステップS203）。利用者は、利用者端末104に表示された各食材提供者が提供する販売単位に基づいた数量と価格などを見て、食材購入の情報として利用する。

【0051】

さらに、ステップS204で、検索を継続するか否かの確認をおこなう（ステップS204）。検索を継続する場合は、継続を選択しステップS201に戻る。また、検索を終了する場合には、終了を選択して、ステップS205に移行し、コーディネーション端末との接続を切断する（ステップS205）。

【0052】

ここで、利用者が、この食材の販売単位に基づいた数量と価格の情報をを用いて

、実際に食材を購入する形態については特に定めるものではなく、例えば、オンラインショップを行っている食材提供者が返信した食材の販売単位に基づいた数量と価格に対して、さらに実際に購入する食材だけを選択する、又は数量を変更してコーディネーション端末との接続を切らずにネット上で直接購入する方法や、利用者の居住地に近い店舗に直接出向いて購入する方法などが考えられる。

【 0 0 5 3 】

本実施形態におけるコーディネーション端末は、インターネットなどのネットワークを利用したシステムとして構成されることから、利用者は自宅に居ながら必要な食材の購入量や価格の予定を立てることができる。また、異なる複数の食材提供者間の情報が編集されて利用者に提示されるので、利用者はより多くの情報を取得することができ、食材購入の選択肢が広がる。

【 0 0 5 4 】

また、ネットワーク上に公開された料理レシピサイトや食材提供者サイトのデータを利用するので、従来の単独店舗で提供するサービスと比較して、利用者が希望する料理レシピや食材を非常に高い確率で取り揃えることができる。また、食材提供者により販売単位は異なることから、利用者が希望する適切な分量の販売単位で食材を購入することができる。また、料理レシピ情報を有しない食材提供者も、ネットワークに接続するだけで食材情報の提供サービスを開始することができる。

【 0 0 5 5 】

（第 2 の実施の形態）

本実施形態においては、利用者が、所定の料理を作るために必要な食材の数量と分量を、コーディネーション端末を介して、食材提供サイトに食材の販売単位での数量、価格などを問い合わせ、利用者の操作が容易になるように予め登録した個人情報に基づいて利用者端末に結果を提示する。

【 0 0 5 6 】

以下、図 9 に基づいて、本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムについて説明する。なお、図 9 は、本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。

【0057】

本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムは、図9に示すように、食材の種類、販売単位、価格などの情報を提供する食材提供者端末300、料理レシピを提供するレシピ提供者端末301、コーディネーション端末302、利用者端末303、所定の個人情報を格納する個人情報端末304がネットワーク305を介して接続されている。

【0058】

食材提供者端末300は、提供可能な食材名、販売単位、価格などの食材情報を格納するデータベースを有する。この食材提供者端末300は、ネットワークを介して送信される取り扱い食材の種類と分量の問い合わせに対して、提供可能な食材名、販売単位での数量、価格を返信する手段を有する。

【0059】

レシピ提供者端末301は、料理の名前、材料、作り方などを格納するデータベースを有しており、利用者がネットワークを介して料理レシピを閲覧することができる。

【0060】

コーディネーション端末302は、利用者が選択した料理レシピから例えば必要な食材と分量からなる食材情報を抽出する食材情報抽出手段、料理レシピの提供サイトに対して例えば必要な食材と分量からなる食材リストを要求する食材リスト要求手段、複数の料理レシピから送信された食材の種類と分量を編集する食材情報編集手段、食材提供者端末に対して取り扱う食材の種類及びその分量の情報を要求する食材情報要求手段、食材提供者端末から取得した食材名、販売単位で提供できる食材数量、及びその価格などの食材情報を利用者端末に提示する食材情報提供手段などを有する。

【0061】

利用者端末303は、ネットワーク304を介して、レシピ提供者端末301の情報、食材提供者端末300の情報、コーディネーション端末302の情報を表示し、必要に応じて上記各端末に送信する情報を入力する入力手段を有する。

【0062】

個人情報端末 3 0 4 は、利用者の個人情報を予め登録する端末である。この個人情報端末 3 0 4 は、コーディネーション端末 3 0 2 を利用する際には、個人情報端末 3 0 4 により個人認証が行われる。また、食材情報を利用者端末 3 0 3 に提示する際には、利用者が提示を希望する情報に関する各種設定をおこなう。なお、本実施形態においては、個人情報端末 3 0 4 を、ネットワークシステム上に別途に設けた構成を例に説明するが、コーディネーション端末 3 0 2 内に個人情報端末装置の機能を格納しても良い。

【 0 0 6 3 】

次いで、図 1 0 に基づいて、本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムの動作フローを説明する。なお、図 1 0 は、本実施形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムの動作フローを説明するためのフローチャートである

【 0 0 6 4 】

まず、図 1 0 に示すように、ステップ S 4 0 0 で、利用者端末 3 0 3 をコーディネーション端末 3 0 2 に接続する（ステップ S 4 0 0）。これは、例えば利用者が汎用の Web ブラウザを利用して、コーディネーション端末 3 0 2 の URL を指定することにより行うことができる。

【 0 0 6 5 】

次いで、ステップ S 4 0 1 で、コーディネーション端末を初めて利用する利用者に対しては、個人情報の登録を促すページを提示して、利用者の個人情報を個人情報端末 3 0 5 に格納する。一方、既に個人情報を登録している利用者に対しては、個人情報端末 3 0 5 に格納された情報と照合して個人認証を行い、コーディネーション端末 3 0 2 への接続が許可される（ステップ S 4 0 1）。このとき、個人情報を登録していない場合でも接続は許可することはできるが、以降の個人情報を利用したサービスは提供されない。

【 0 0 6 6 】

次いで、ステップ S 4 0 2 で、コーディネーション端末 3 0 2 に接続した利用者は、コーディネーション端末 3 0 2 を介して複数の料理レシピサイトを自由に閲覧し、好みの料理レシピを選択する（ステップ S 4 0 2）。

【 0 0 6 7 】

このとき、料理レシピを選択する操作を、図 3 及び図 4 に示す。なお、図 3 及び図 4 は、料理レシピの選択操作を説明するための説明図である。

【 0 0 6 8 】

料理レシピを選択する操作は、図 3 に示すように、利用者が、複数の料理レシピを提供している料理レシピサイトを巡回し、好みの料理レシピが表示されたページを選択するという方法がある。また、図 4 に示すように、料理レシピを提供するサイトで、食材あるいはテーマなどのキーワードを入力して検索を行い、表示された料理レシピから好みの料理レシピを選択する方法を採用してもよい。また、好みの料理レシピを選択する方法として、料理レシピを提供するサイトの検索エンジンを利用しても良い。

【 0 0 6 9 】

このとき、コーディネーション端末は、図 5 に示すように、料理レシピの画面から食材情報のみを抽出することができる。即ち、利用者は、選択した料理レシピが表示される画面上で、選択した料理に必要な食材とその分量を抽出することができる。

【 0 0 7 0 】

さらに、コーディネーション端末は、図 6 に示すように、料理レシピの提供サイトに対して、選択された料理レシピの食材リストを要求して取得することができる。

【 0 0 7 1 】

これにより、図 7 に示すように、利用者が複数の料理レシピサイトを閲覧して、表示された好みの料理を選択する操作を繰り返すだけで、料理を作るのに必要な食材が編集されて利用者端末に提示される。このとき、食材の分量は、料理レシピで指定される人数分（例えば 4 人分）で表示される。また、料理レシピにより異なる場合は、システムに予め指定されている人数分（例えば 4 人分）に換算されて表示することができる。

【 0 0 7 2 】

食材の分量を編集する際、料理レシピ間で販売単位が異なる場合には、予め設

定された単位変換テーブルにより、換算した分量を表示することができる。例えば、単位変換テーブルに、「15ccを大さじ1」、「5ccを小さじ1」とすれば、設定をスプーンに表示したときに、料理レシピに30ccと記載されていれば、「大さじ2」と表示することができる。

【0073】

次いで、ステップS403で、コーディネーション端末302は、利用者が何人分の食材が必要かを入力して、問い合わせを意味するボタンを押すことで、利用者が選択した料理を作るために必要な食材の数量と分量を食材提供者端末300に送信する（ステップS403）。

【0074】

このとき、コーディネーション端末302は、個人情報端末304の設定情報と照合して、オンラインショップでの食材購入を登録している利用者に対してはオンラインショップサービスをおこなう食材提供者に対して食材情報を要求し、店舗での食材購入を登録している利用者に対しては、利用者が購入可能な所定距離に店舗を有する食材提供者に対して情報を要求する。

【0075】

このことにより、検索時間を短縮することができ、利用者端末304には希望する店舗の食材情報だけが表示される。なお、個人情報を登録していない場合は、予めシステムが設定した食材提供者に食材情報を要求するという設定をすることができる。

【0076】

このとき、食材提供者端末300は、受信した食材の品揃えがあるか否かを確認する。品揃えがある場合には、コーディネーション端末302から送信された食材の分量とその食材の販売単位とを比較する。さらに、食材の分量を満足する最小の販売単位の数量を算出すると同時に、その価格も算出する。その後、食材提供者端末300は、各食材の販売単位の数量とその価格をコーディネーション端末302に返信する。取り揃えが無かった場合には、食材提供者端末300はその意味を示す情報をコーディネーション端末302に返信する。

【0077】

また、食材提供者端末は、コーディネーション端末から得られる食材について、必要な販売単位での数量と価格の情報を返信する際、取り扱いのある一部の食材の情報だけを送信し、取り扱いのないその他の食材に関しては、その意味を示す情報を送信しても良い。

【 0 0 7 8 】

次いで、ステップ S 4 0 4 で、コーディネーション端末 3 0 2 は、複数の食材提供者端末 3 0 0 から取得した食材情報を、利用者が登録している個人情報に基づいて、利用者端末 3 0 4 に提示する（ステップ S 4 0 4）。

【 0 0 7 9 】

このとき、利用される個人情報は、食材の分類毎の選択、非選択の設定、同一例えば異なる販売会社により提供される複数の食材を表示する優先順位の設定などがある。また、個人情報として食材の人数の設定をすることもできる。

【 0 0 8 0 】

食材分類毎の選択、非選択の設定は、図 1 1 に示すように、特にオンラインショップで購入する場合に利用される。例えば調味料として分類される食材を購入しないと設定している場合には、非選択で（即ち、購入を意味するチェックマークをはずして）、利用者端末 3 0 4 に提示される。一方、上記以外の食材には、購入を意味するチェックマークを付加して、食材の数量も変更可能に提示する。

【 0 0 8 1 】

なお、数量を変更する場合には、販売数量にあわなくなる可能性があるため、数量を変更する場合には、再度検索する必要がある。

【 0 0 8 2 】

また、同一食材が複数表示される場合の優先順位の設定は、図 1 2 に示すように、料理に必要な食材の分量と販売単位が近い順に、あるいは購入価格の安い順に提示するなどの設定がある。このような設定により、条件に適合する食材情報だけを表示し、条件に適合しない他の食材を表示しないこともできる。例えば他の候補があることを意味するマーク（例えばプルダウン用の矢印）を付加して、利用者が自由にその表示を変更できることができる。

【 0 0 8 3 】

また、オンラインショップサービスをおこなう食材提供者から提示された食材を表示する画面には、注文操作をおこなうためのボタンが表示される。

【 0 0 8 4 】

次いで、ステップ S 4 0 5 で、利用者が、オンラインショップで食材を購入するか否かを確認する（ステップ S 4 0 5）。利用者が、オンラインショップで食材を購入する場合には、ステップ S 4 0 6 に移行し、オンラインショップのサービスをおこなう食材提供者が提供した食材の販売単位に基づいた数量を確認して、注文操作をする（ステップ S 4 0 6）。なお、個人情報が登録されていない場合は、食材提供者から提供された食材情報を全て表示する。

【 0 0 8 5 】

このようにして、利用者は、各食材提供者が提供する販売単位に基づいた数量と価格などを利用者端末 3 0 4 に表示して、食材情報として利用する。

【 0 0 8 6 】

さらに、ステップ S 4 0 7 で、検索を継続するか否かを確認する（ステップ S 4 0 7）。検索を継続する場合は、継続を選択して、ステップ S 4 0 2 に戻る。一方、検索を終了する場合には、終了を選択して、ステップ S 4 0 8 に移行し、コーディネーション端末との接続を切断する（ステップ S 4 0 8）。

【 0 0 8 7 】

本実施形態におけるコーディネーション端末は、インターネットなどのネットワークを利用したシステムとして構成されることから、利用者は自宅に居ながら必要な食材の購入量や価格の予定を立てることができる。また、異なる複数の食材提供者間の情報を編集した上で利用者に提示するため、利用者は多くの情報を取得することができ、選択肢が広がる。また、ネットワーク上に公開された料理レシピサイトや食材提供者サイトのデータを利用するので従来の単独店舗でのサービスと比較して、利用者が希望する料理レシピや食材を非常に高い確率で取り揃えることができる。

【 0 0 8 8 】

また、本実施形態では、料理レシピ情報を有しない食材提供者も、ネットワー

クに接続するだけでサービスを開始することができる。また、食材提供者により販売単位が異なることから、利用者が希望する適切な分量の販売単位で食材を購入することができる。また、個人情報を登録することにより、情報を要求する食材提供者が限定できるので、利用者の希望に添った食材情報を高速に提示することができる。また、個人情報を登録することにより、予め購入する食材の種類を選択、あるいは非選択に分類できるので、オンラインショップで食材を購入する場合に、利用者の手間を省略できる。また、個人情報を登録することにより、同一食材を必要以上に表示しないように設定できるので、利用者端末には最小限の食材が表示され、利用者が見やすいように提示される。

【 0 0 8 9 】

以上、本発明に係る好適な実施の形態について説明したが、本発明はかかる構成に限定されない。当業者であれば、特許請求の範囲に記載された技術思想の範囲内において、各種の修正例および変更例を想定し得るものであり、それらの修正例および変更例についても本発明の技術範囲に包含されるものと了解される。

【 0 0 9 0 】

本実施形態では、料理レシピの提供と食材の提供を組合わせた販売促進情報のコーディネーションを例に説明したが、コーディネーションを行う対象はかかる例に限定されない。例えば、日曜大工作品の作り方の提供と木材などの材料の提供との組合わせ、掃除の仕方と掃除用品の組合わせ、植物の育て方の提供と土や肥料などの材料の提供との組み合わせ、パソコンの組立方法の提供とパソコン用パーツの提供との組合わせなど、何らかの作業方法とその作業に使用する材料や道具の提供などの作業要素の提供という、二つ以上の組み合わせのコーディネーションであれば、いかなる組み合わせでも実施することができる。

【 0 0 9 1 】

また、食材情報の表示方法に関する設定について、食材の分類毎の選択、非選択の設定や、同じ食材が複数個表示される場合（例えば販売会社が異なるなど）の優先順位の設定の説明を行ったが、利用者にとって効果的な表示方法を設定するものであれば、これに限るものではない。

【 0 0 9 2 】

【発明の効果】

食材提供者などの作業方法提供者の情報ページから必要な食材などの作業要素とその分量を指定するだけで、複数の食材提供者間の情報が取りまとめられて利用者端末に提示される。この結果、利用者は自宅に居ながらにして、例えば食材などの作業要素の購入量や価格の予定を立てることができる。また、異なる複数の食材提供者などの作業要素提供者間の情報をとりまとめた上で利用者端末に提示されるので、利用者は、より多くの情報を取得できると共に購入する作業要素の選択肢が広げられる。

【0093】

また、ネットワーク上に公開された例えば料理レシピなどの作業方法提供者のサイトや例えば食材提供者などの作業要素提供者のサイトのデータを利用するので、単独店舗で行われる従来のサービスに比べて常に高い確率で取り揃えることができる。また、食材提供者により異なる販売単位についても、利用者が希望する適切な分量の販売単位で食材を購入することができる。さらに、料理レシピなどの作業方法の情報を有しない食材提供者などの作業要素提供者も、ネットワークに接続するだけでサービスを開始することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

第1の実施の形態にかかる販売数量情報コーディネートサービスシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】

第1の実施の形態にかかる販売数量情報コーディネートサービスシステムの動作フローを説明するためのフローチャートである。

【図3】

第1の実施の形態にかかる利用者端末に表示される料理レシピサイトの一例を示す説明図である。

【図4】

第1の実施の形態にかかる利用者端末に表示される料理レシピサイトの一例を示す説明図である。

【図 5】

第 1 の実施の形態にかかる利用者端末に表示される料理レシピサイトの一例を示す説明図である。

【図 6】

第 1 の実施の形態にかかる利用者端末に表示される料理レシピサイトの一例を示す説明図である。

【図 7】

第 1 の実施の形態にかかる利用者端末に表示される料理レシピサイトの一例を示す説明図である。

【図 8】

第 1 の実施の形態にかかる利用者端末に表示される料理レシピサイトの一例を示す説明図である。

【図 9】

第 2 の実施の形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムの構成を示すブロック図である。

【図 1 0】

第 2 の実施の形態にかかる販売数量情報コーディネーションサービスシステムの動作フローを説明するためのフローチャートである

【図 1 1】

第 2 の実施の形態にかかる利用者端末に表示される料理レシピサイトの一例を示す説明図である。

【図 1 2】

第 2 の実施の形態にかかる利用者端末に表示される料理レシピサイトの一例を示す説明図である。

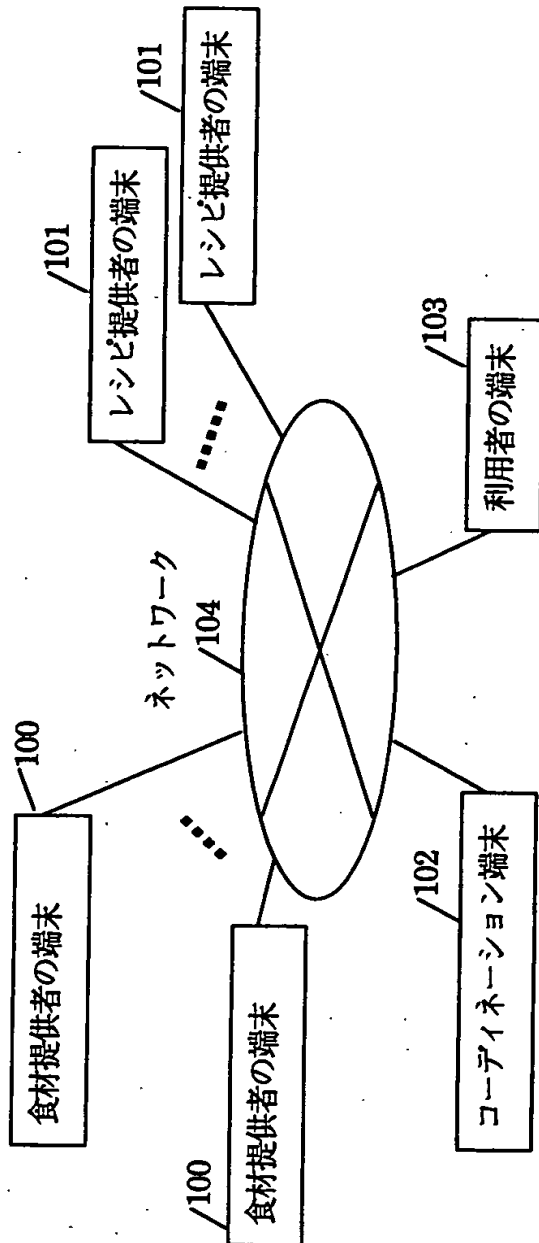
【符号の説明】

- 1 0 0 食材提供者端末
- 1 0 1 料理レシピ提供者端末
- 1 0 2 コーディネーション端末
- 1 0 3 利用者端末

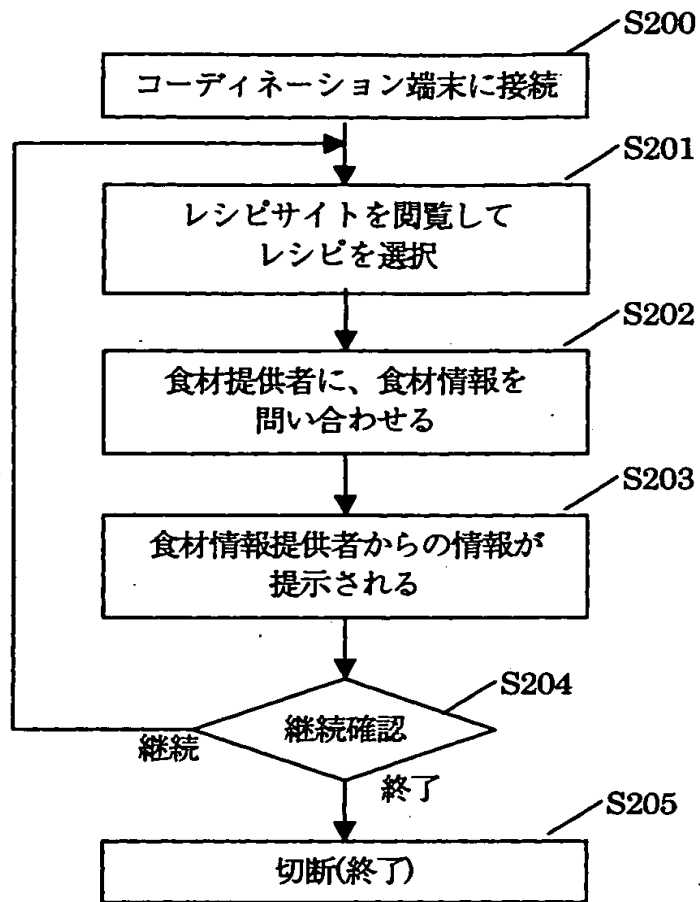
1 0 4 ネットワーク

【書類名】 図面

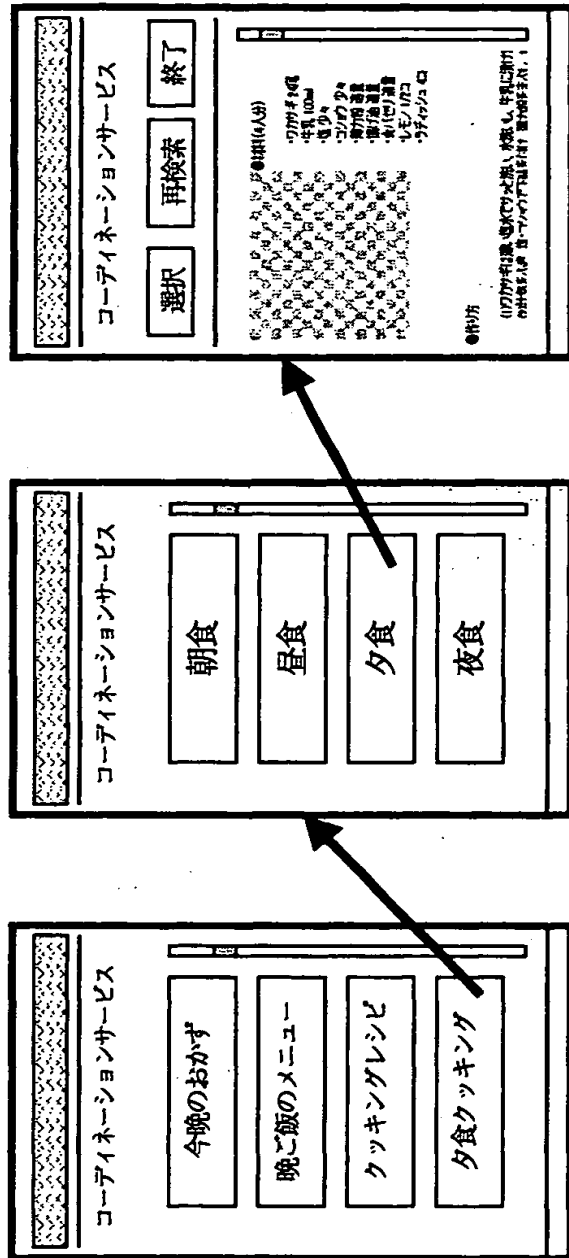
【図 1】



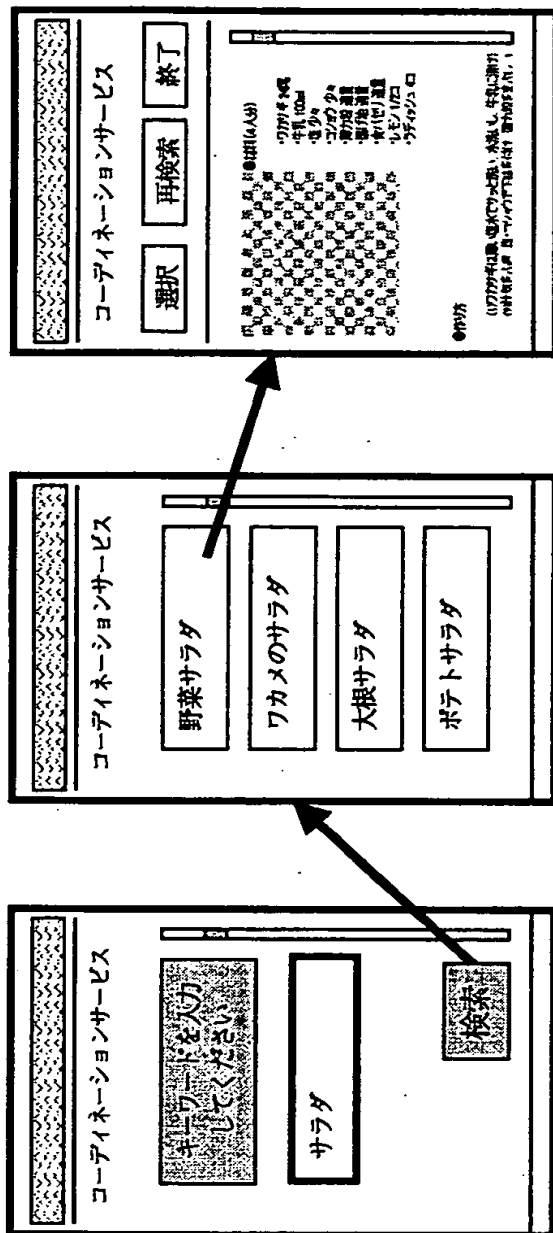
【図 2】



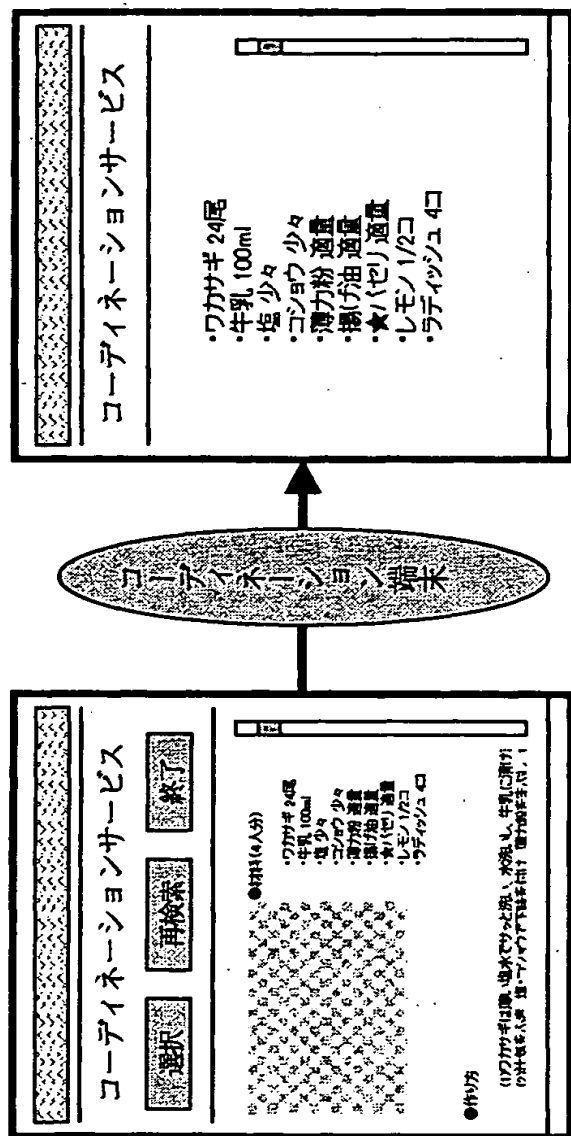
【図 3】



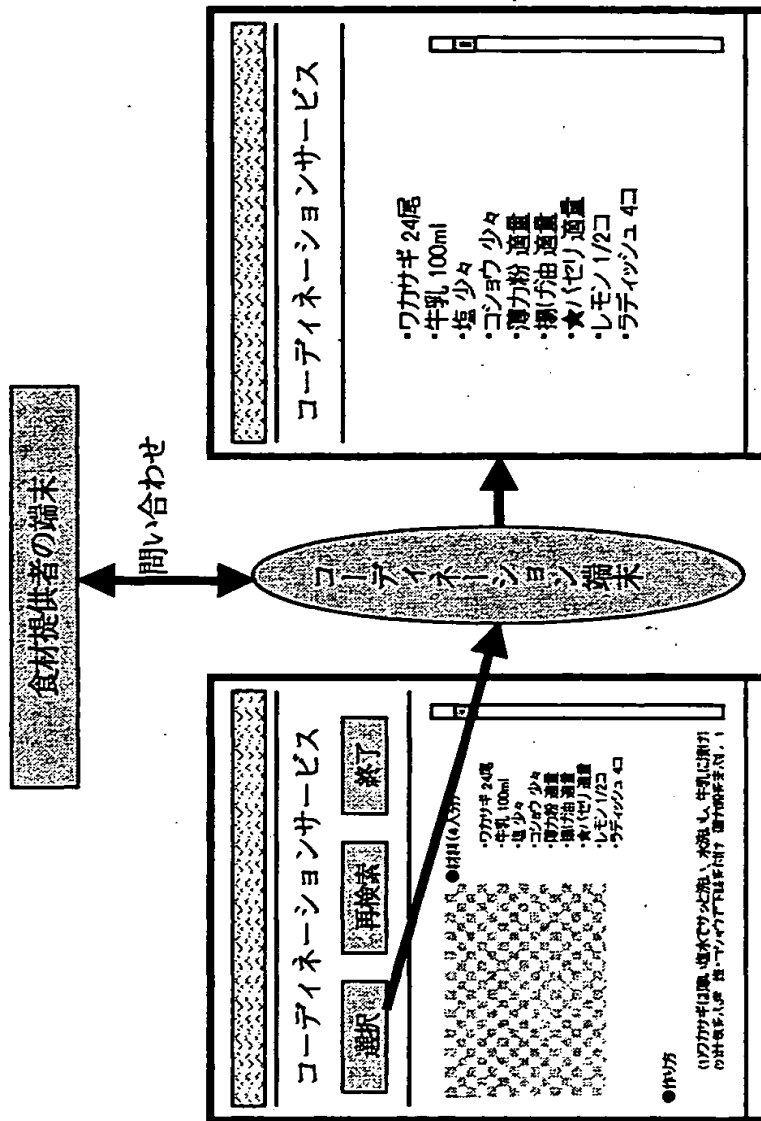
【図 4】



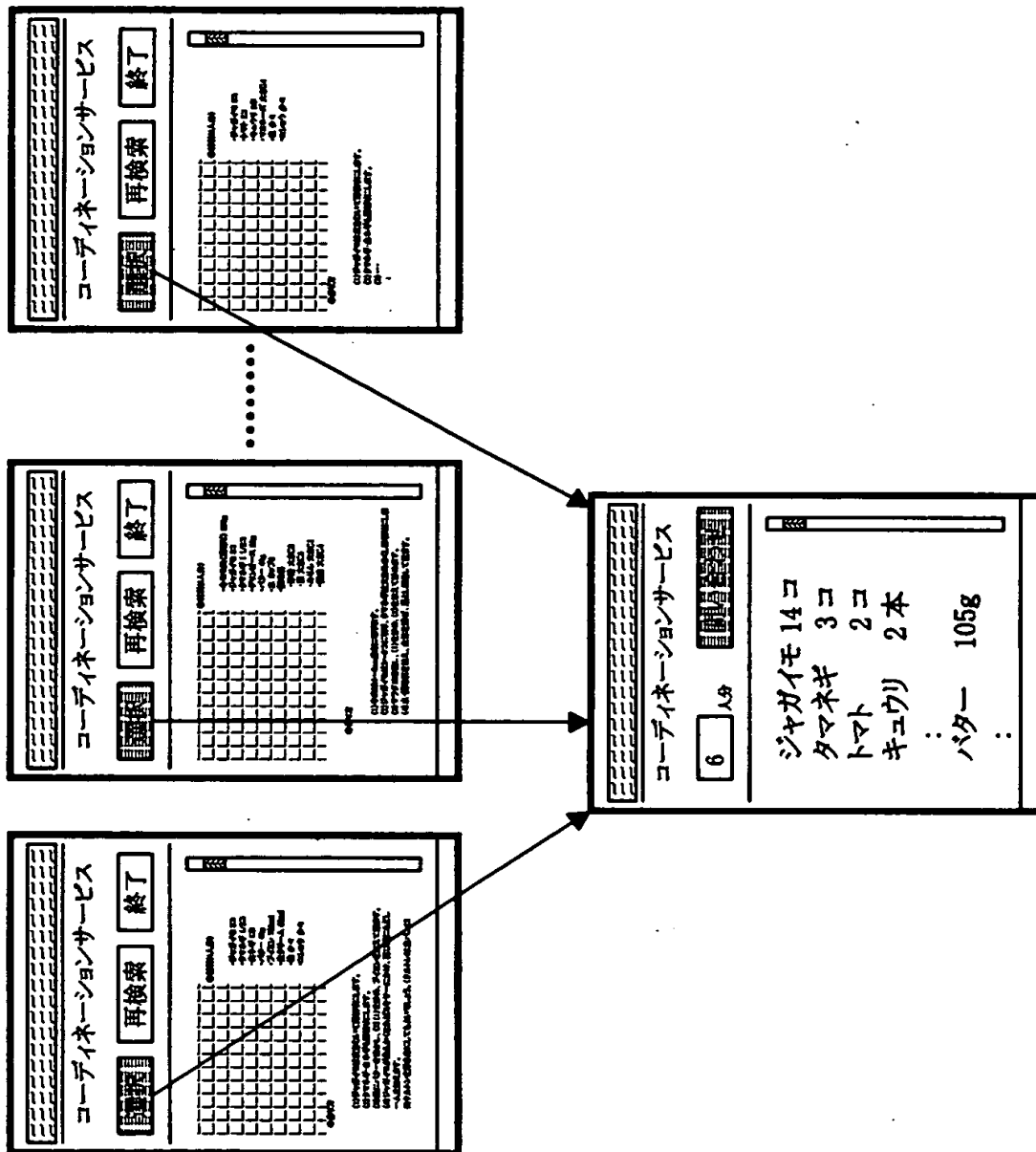
【図 5】



【図 6】



【図7】



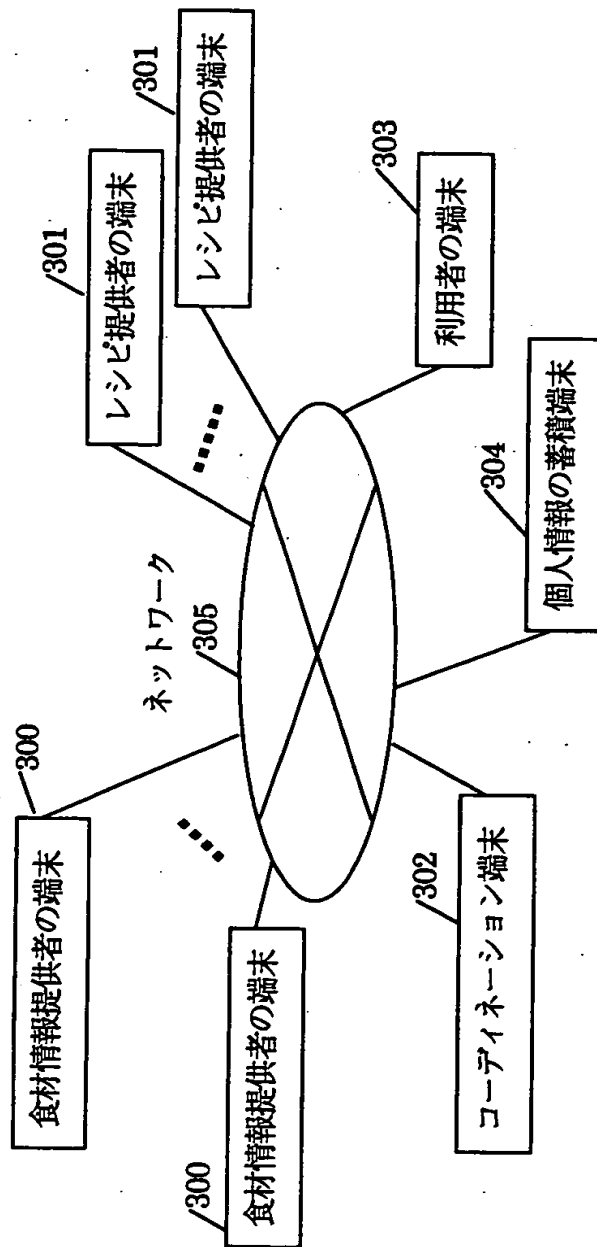
【図 8】

コーディネートサービス

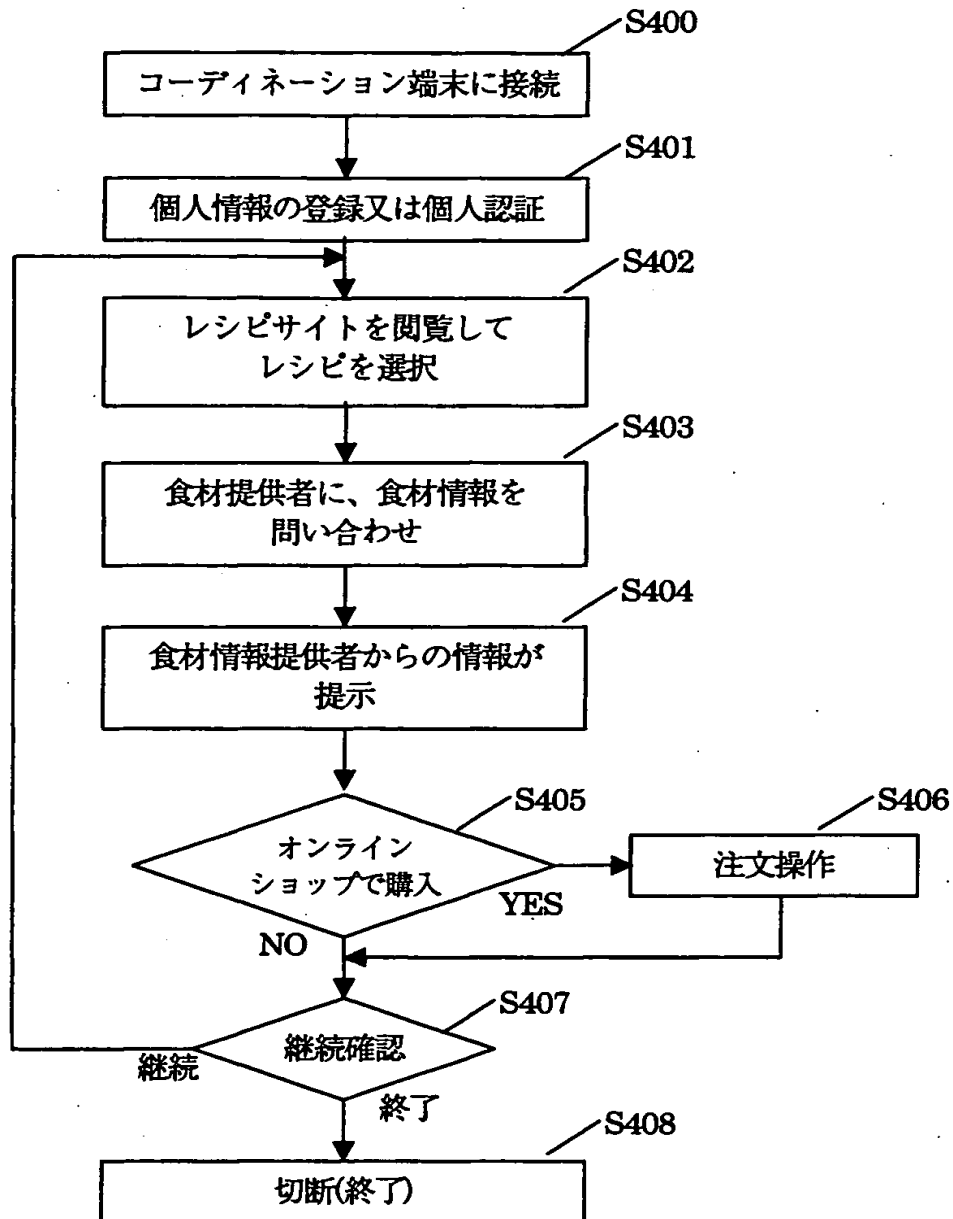
確認
再検索
終了

	食材名	必要量	Aスーパー	価格	Bスーパー	価格
●	トマト	2個	1パック	320円	2個	240円
●	キュウリ	2本	1袋	140円	2本	180円
●	塩	大さじ1	1袋(1kg)	430円	1個(50g)	110円
●	砂糖	小さじ2	1袋(500g)	312円	1袋(500g)	332円

【図 9】



【図10】



【図 1 1】

コーディネートサービス

確認
再検索
終了

	食材名	必要量	Aメニュー	価格	Bメニュー	価格
<input checked="" type="checkbox"/>	トマト	2個	1袋(500g)	320円	2個	240円
<input checked="" type="checkbox"/>	キュウリ	2本	1袋(500g)	140円	2本	180円
-	塩	大さじ1	1袋(1kg)	430円	1個(50g)	110円
-	砂糖	小さじ2	1袋(500g)	312円	1袋(500g)	332円

●：選択 -：非選択

【図 12】

コーディネートサービス

確認
再検索
終了

	食材名	必要量	Aスーパー	価格	Bスーパー	価格
●	トマト	2個	1袋(2kg)	320円	2個	240円
●	キュウリ	2本	1袋(2kg)	140円	2本	180円
-	塩	大さじ1	1袋(1kg)	430円	1個(50g)	110円
-	砂糖	小さじ2	1袋(500g)	312円	1袋(500g)	332円

●：選択 -：非選択
↑ オンライン注文

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 作業方法に必要な作業要素を販売数量情報に基づいて効率的に購入することが可能な販売数量情報コーディネーションサービスシステムを提供する

【解決手段】 ネットワーク 1 0 3 には、利用者端末からの要求に応じて、情報ページに提示される作業要素の販売数量情報を少なくとも 1 以上の作業要素提供者端末に対して要求する販売数量情報要求手段と、複数の作業要素提供者端末から提供された複数の販売数量情報を所定形式で編集する編集手段と、編集された販売数量情報を販売数量情報を要求した利用者端末に提供する販売数量情報提供手段と、を有するコーディネーション端末 1 0 2 が接続される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000000295]

1. 変更年月日	1990年 8月22日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
氏 名	沖電気工業株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.